

効果を
実感

たくさんのお客様から
お喜びの声をいただいています。

ご家族も
うれしい!

飲み続けている皆さんは、「トリムウォーター」の
チカラを実感されています。



10年以上トリムウォーターを飲んでいますが、60代になった今でも「若い」とよく言われます。この水が役立っているのかなと思います。(60代男性)

市販のペットボトルを買うより、長い目で見ると非常にコストが安い。料理の味も美味しくなり、体調も良くなったので、大満足です。(50代男性)

昨年、大腸がんの検査を受けましたが、お医者さんに「きれいな大腸で大丈夫」と言われ、嬉しかったです。(60代女性)

胃の手術をして15年が経ちますが、ここ数年、胃もたれがなくなり、健康な胃になったと感じます。(50代女性)

※文中の効果・効能はあくまでもお客様個人のご感想です。

トリムウォーターの
新たな可能性

「電解還元水」
に関する記事が
2012年8月2日付の
産経新聞に
掲載されました。



脳神経細胞の炎症 水素ガスで抑制

九大など研究チーム
マウスで効果

水中に含まれる分子状水素（水素ガス）が、脳神経細胞の炎症を抑制し、回復を促す効果をもつことを、九州大学農学部とスウェーデンのカロリンスカ研究所の研究グループがマウス実験で突き止め、1日発表した。電解還元水機器販売の日本トリム（大阪市）が資金や機器の一部を援助した。

脳神経細胞の炎症が二因となるパーキンソン病の症状緩和などへの効果が期待されるという、研究成果は科学雑誌「プロス・ワン」に掲載された。実験はカロリンスカ研究所で実施。マウスに分子状水素を豊富に含む水を1週間に1回以上飲ませた後、脳神経細胞に炎症を引き起こす「リボ多糖」を投与し、マウスの運動量を調べた。炎症の影響、通常のマウスは運動量が6割以上も低下したが、分子状水素が含まれる水を飲んだマウスは、低下率が4割程度だった。

また、マウスの体重の変化するのを追うと、通常のマウスでは炎症による食欲不振で減少した体重が元に戻るのに9～10日かかったが、分子状水素を含む水を飲用したマウスは、3日後にはほぼ炎症前の体重に戻ったと見られる。

カロリンスカ研究所神経科学科のステファン・スバルパー研究員は「炎症を抑制するメカニズムはまだはっきりしていないが、免疫機構が分子状水素が働きかかると考えられる」としている。

※この記事は産経新聞社の許諾を得て転載しています。